

令和5年4月17日

令和4年度「熊本大学病院教育支援事業」使用実績報告書

使用者 (代表者)	氏名	所属	職名
	田中 靖人	消化器内科	教授
グループ全員 *記入欄が不足する場合は、 別紙に記入			
申請事項及び 申請内容	マークシート読み取り機及び採点ソフト		
助成金額	747,000 円	助成金使用総額	747,000 円
<p>使用内訳</p> <p>消耗品 20,000円 (内訳) マークシート 1,000枚</p> <p>旅費 607,000円 (内訳) KS-大学-採点アンケートセットPLUS ライト版</p> <p>その他 120,000円 (内訳) 設置設定費用</p>			
<p>成果(※具体的な効果および自己評価も含め1,000字程度)</p> <p>2月20日にマークシート読み取り機及び採点ソフトが納品された。マークシート読み取り機は教務に設置した。3月23日に行われた第3学年の消化器内科学士試験では、解答用紙としてマークシートを利用した。学生にとって、医師国家試験と同様にマークシートを解答用紙として用いることは、試験のリハーサルになり有効である。試験終了後ただちにマークシート読み取り機で採点を行った。115人分の採点が5分程度で終了し、受験者毎の成績がエクセルで作成された。採点、及び成績入力には、多数の人手と時間が必要であるが、労力を大幅に削減することができた。また、購入したKS-大学-採点アンケートセットPLUS ライト版は、採点ソフトの他に、簡易集計ソフトもセットとなっており、設問ごとの正答率、識別係数、成績の分布などを解析したエクセルが同時に作成された。その結果を用い、良問・悪問の判定や、学生の苦手とする分野について、医局内の教員で検討することができた。検討項目を次回の試験問題作成や、授業内容の改善に活かすことができるため、非常に有用である。ソフトなしでは、このような解析は難しく、可能であったとしても膨大な時間を要したと考える。今後は、教務が統合試験でマークシートを利用する予定である。また、教育医長会議で他科にもマークシート導入のメリットをアナウンスし、使用を勧める予定である。</p>			